

事業所名	サッカーあいだっく川崎
------	-------------

公表日 2026年3月1日

利用児童数 48名

回収数 31

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3		6		基本的には屋外のフットサル場を借りて伸び伸びと活動できるようにしております。施設内につきましても、事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはおり、スペースを有効活用出来るよう工夫しております。また、お出かけの企画等も適宜行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1		5	・配車の時、子供の状況によって運転手+1名体制の方がよい	事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、作業療法士の専門スタッフやサッカー経験のある職員等の配置をしております。送迎につきましては、児童の状況に応じて添乗が必要かを事前に打ち合わせ、必要な場合には添乗をつけて対応しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2		11		施設は1Fに位置しており段差なく室内に入室して頂けます。施設内にはフロアマットを設置しており若干の段差がございます。また、キッチンやトイレ入り口に段差がある為、スタッフが必要に応じて補助に入れるよう配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		9	・事業所内の利用者用のテーブルが少なく、空き時間にテーブルを使いたくても使えないようです。 ・子供も過ごしやすく話しています。	生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行なっています。事業所内では、ボールを使つての遊び等のスペース確保や、コート移動までの時間も鑑みてテーブルの配置を行っているため、テーブルが足りない場面もあるかと思いますが、可能な限り児童が公平に利用できるよう調整・対応してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				・子供の特性を理解してくださっている。	専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			1		各事業所の活動等に合わせ、支援プログラムの公表をHPにて行っておりますので、ご確認ください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30			1	・もう少し発達5領域の視点をもって先生と面談ができたらと思った。 ・本人にあった計画を作成いただいています。	療育センターや相談支援事業所とも連携をとり、基本情報やこどもの様子を基に、保護者のお話や提出書類等も参考に、作業療法士の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っております。5領域の視点についても、面談等で、よりわかりやすくお話しできるよう意識してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			5		上記同様、それぞれのこどもについてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			2		計画はもちろん意識しつつも、日々の児童の変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			2	・サッカーといっても、毎回特化する活動を工夫されていると思う。	サッカー活動の中でもミニゲーム要素を入れながら児童が楽しく活動出来るようにプログラムを構成し、色々な活動や季節を感じられるようなイベント、お出かけ等の場もより一層充実させ、提供できるように今後も工夫していきたいと思っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	6	13		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1			1	・丁寧に説明してくれる。	見学時・初回利用時に利用に関する説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1	2	・困りごとを聞いて頂いてから、個別支援計画書を作成して下さる。	計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	7	3	11	・1年以内には研修の機会はない。自主的にアクセスし学びを得ている。 ・面談の際に、相談に乗ってくれる。	現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1				日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1		1		基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申出下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1				それぞれの児童の特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切に支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	6	17	・年に1回イベントがある。 ・サッカーの試合のイベントで交流がある。	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただきます。ただ、東京との試合や「あいだっくフェス」等の全体でのイベントを開催しておりますので、きょうだいや保護者の方同士での交流の場としてご活用いただけますと幸いです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			2	・セラピスト専用メールがあるので対応いただいている	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申出下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31				・メールで迅速に対応してくれている	口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2		3		今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		3		Pマークも取得しており、メールディレータを使った誤送信防止の対策を講じ、個人情報は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27			4		各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26			5		消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1		2		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1		3	・体調がいつもと異なる時、すぐに連絡をしてくれる ・丁寧な対応をしてくれる	事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29			2	・子ども「あいだっく」が楽しいと言っています。	今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	1		2	・子どもが飽きないように、楽しめる活動を日々考えてくれるので、毎日楽しく通所している。	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
29	事業所の支援に満足していますか。	30			1	・よく気にかけてくれる。また思春期の身体のことに関して(女の子特有の問題についてなど)アドバイスをしてくれる。相談しやすい環境を作ってくれている。	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができております。本当たり、相談しやすい環境を作ってくれている。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。	

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	サッカーあいだっく川崎			公表日	2026	年	3月	1日	
	チェック項目	はい	いいえ	課題点や工夫している点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基本的には、屋外のフットサルコートを借り、広いスペースで活動しております。雨の日活動や長期休暇中の室内でのイベント等の際は、施設内となりますが、収納スペースを上手く活用しながら、なるべく広く使えるように工夫しています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、作業療法士や保育士等の専門スタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設は1Fに位置しており、細かな段差等、必要な箇所ではスタッフが補助する形で配慮を行っています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間内に空気清浄機を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状第三者による外部評価は行なっておりませんが、同企業内他施設の実地調査や更新時の調査で指摘された点を参考に業務改善を行っています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他施設と合同での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年度より各事業所の活動等に合わせ、支援プログラムの公表を、HPにて行なっております。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため、標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行なっていますが、あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の気持ちを考え、楽しく参加しながら、学んでいることを自然に身に付けられるよう、毎日、集団活動でのプログラムと個人の状態、状況を組み取りながら、児童にあった活動メニューを工夫しています。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせ計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表、当日行うプログラム活動の内容、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。				
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。					
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		サッカーをメインとした運動活動や日常生活の充実、自立への支援等を中心に、自由時間や空き時間、長期休暇時のイベント等では遊びや創作活動等の要素も取り入れ、幅広く支援を行っています。					
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で試合やミニゲーム等での動きを考えたり、決めたり、それが難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらったり等、活動内で自己決定の機会を作るよう工夫しています。					

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取りは出来ていませんが、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携についても検討中です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		お迎えが遅れる時などは必ず学校へ連絡しています。下校時間が急遽変更になった時や放課後活動が遅れる時には学校から直接連絡をいただけますが、通常の下校時刻や月の行事予定等の情報は必ず保護者を通して把握するように学校から言われており、月間予定表や学年だよりを保護者様からご提供いただいています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在は行なえていないケースが多いですが、必要性に応じて積極的に情報共有に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△		現状、必要に応じて行っており、全員について行えてはいませんが、引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくすると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの直接的・継続的な連携は行なえていませんが、研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関から助言をいただいております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外活動時等に障害のない児童と接する機会がありますが、現状ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流はしておりません。ただ、外部に向けての情報発信や交流も視野に入れ、あいだっく全体のイベント開催をしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会には参加できていませんが、県・市の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、定期的に同企業内他施設とのサッカーの試合を行い、保護者にも観戦してもらい情報交換を行っています。保護者との個別面談も実施しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		ご家庭に対しての研修は開催できておりませんが、情報提供等は適宜行っており、日々の活動においての評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	△		要望も少なく、保護者会という形での機会は設けておりませんが、試合やフェス等を開催しており、児童の成長を見てもらいつつ、保護者同士の連携やお話する機会にもなればと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ていない現状ではありますが、サッカーの試合等のイベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更があった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行なわなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サッカーあいだっく川崎		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日		～ 2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日		～ 2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サッカーを通じた体力と協調性の向上	サッカー活動の際には、安全を最優先に考え、適切な用具と見守りの下、屋外のフットサルコートを借りて活動を行っています。サッカーの練習や試合を通じて、体力を養い、チームワークやコミュニケーション能力を楽しく育てていけるよう環境を整えています。	プログラムの内容や形式について定期的な見直しを行い、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるよう努めています。また、利用児童やご家族からのご意見・ご要望を取り入れ、プログラムの改善につなげています。その際には、絵カードやイラストを用いるなど、子どもたちにとって分かりやすく伝わる工夫を行っています。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントは積極的には行えておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思います。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思います。
3			